

# 『チアキの脳内探検 part.2』

ふるすあるは

— 子どものきもち絵本原画展 @ さいたま市役所市民ギャラリー 2017.3.13-3.19

## 絵本の原画 pick up

ハートのぐるぐるの絵は、お母さんの病気について、お父さんからの説明を聞いている主人公スカイを描いたシーンです。病気の話はちょっとムズカシイけれど、大人が一生懸命話してくれているメッセージが伝わり、スカイも真剣に話をききます。その真剣さ、ドキドキ感。「真剣にお話を聞いた」の絵は、その後も繰り返し登場する描写です。



ボクのせいかも  
—お母さんがうつ病になったの—  
P20-21

唯一の「水彩画」の絵本。前編・急性期の病状と対比させて、後編・療養編は水彩画を選択しました。ゆっくり流れる時間、先が見えないもどかしさ。子どもにとっても、病気のご本人にとっても、病気のことや新しい生活を少しずつ受け入れていく時間です。主人公ホロとゆらお姉さんは冬をこせるお花の苗を植え、つきぬけていく空の先に、ほんのりと希望を表現しました。



お母さんは静養中  
—統合失調症になったの・後編—  
P16-17

「ボクはまだ子どもで何にもできない。。。」  
子どもが感じる圧倒的な無力感を描いた一枚です。ちっぽけな自分感をどうやって表現しようかと考えて、思い切った構図にしました。背景の地球に、リクとソラ（犬）のイラストを、重ねています。次のシーンは... こちらは思い切ったリクの顔のアップです。ぜひページをめくってみてください。



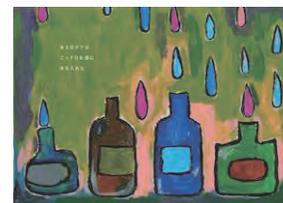
ボクの冒険のはじまり  
—一家のケンカはかなしいけれど...  
P12-13

同じぐるぐるでも、こちらは、自分の世界に閉じこもってしんどい丸。具合が悪いお母さんを大人たちが探しまわって...説明のない中でひとり過ごすホロの不安、こわさ。まわりの音にも敏感に。原画を描くときは、子どもの年代にタイプスリップして、子どもから見た世界をイメージしています。ホロが感じる世界?...サイレンはバチバチとした赤色で塗りました。



お母さんどうしちゃったの...  
—統合失調症になったの・前編—  
P12-13

アルコール依存症編の絵本では、家族みんなの涙のシーンを描きました。お酒をやめようと思っても飲んでしまうお父さんの涙。いつも不安でお父さんの心配をしているお母さんの涙。こわくてさびしくてかなしくて...主人公ハルのたくさんの涙。お父さんのお酒のビンに、ハルがこっそりお水を入れるシーンには、そんなみんなの涙が、いろんな色になって重なっています。



ボクのことわすれちゃったの？  
—お父さんはアルコール依存症—  
P12-13

絵本には主人公の「相棒・安心アイテム」が登場します(不登校編のミク以外)。感覚過敏編ではぬいぐるみのウサゴロー。肌触りがよくて、触っていると安心〜。八つ当たりされることもあります、大切な相棒です。絵本も終盤、感覚過敏から苦手探検をして、タクが安心するシーンでは、ウサゴローもとびきりの笑顔で応えています。ウサゴローは、リアルあみぐるみにもなりました。



発達凸凹なボクの世界  
—感覚過敏を探検する  
P40-41

## 一番こだわっていること

色と表情です！



## 立体作品

前回、今回と展覧会にあわせてロボットを作りました。「ボクはロボット。だから傷つかない...」そんな意味もあるのかないのか。子どもの頃から変わらず好きなアイテムです。

今回の新作はなぜ赤色なのか？ 赤が似合いそうだと思ったから。ちょうど赤のペンキを買ったところで使いたかったから。??? 聞かれてもわからないことがたくさんあります。感覚なので...

赤のロボットには、針金を手に仕込んで自由をプラスしました。毎日ポーズが変わっているかもしれません。



## 視覚過敏の春

私は春の景色が苦手です。世界がまぶしいことに加えて、毎日の散歩コースで、朝と夕でも景色が変わります。木の芽や葉がぐんぐん伸びて、光の反射の具合が変わるのです。これがどうにも落ち着かない。言葉で説明しても伝わりにくかったので、絵に描いてみました。タイトルは、視覚過敏の春。春の世界がこんなふうに見えています。



※私はいろいろな感覚の過敏さをもっています。その体験は、タクの絵本に生かされています。

## 探してみよう

「未来ヘゴ」のドットの中に、スマイルが3つ隠れています。前回の場所からは移動しています(^^)

## 大人のあなたは信じられますか？

(左) 見えない包帯 (右) 見えない鎖

子どもの生きぬく工夫を表現した絵です。自分で自分の手当をしながら、包帯の中からまわりの世界をじっと見ている。自分に鎖をして、自分にブレーキをかけながら、まわりの世界をじっと見ている。包帯や鎖は目には見えないけど、それを信じない大人のことは、子どもにはすぐにわかります。「見えない包帯、信じられますか？」「見えない鎖、信じられますか？」



## ほんと？

Q. 水彩画で苦労したってほんとですか？

ほんとです。性に合わないみたいです...。私は、自由に描いているように見えて、実は明確なイメージがあって絵を描いています。水彩画の、にじみや絵の具の拡がりをコントロールできない感じが大きなストレスなのです。余白があると埋めたくないので、余白の美もムズカシイ...

やはりアクリル絵の具派です。乾きも早いし、何度でも塗り重ねられる(^^)。そんなわけで、統合失調症の後編は、最初で最後の水彩画の作品です。

Q. 手が早いって本当ですか？

A. ほんとです。例えば、ギャラリーの外から見える大きな絵は、制作時間100分でした。イメージが固まると、すらすらと描くことができます。自由に描いていい絵は楽しい！ 反対に、イメージが固まらないときには、一筆も進みません。1ヶ月あっても、締め切りが迫っても、ピタリとも手が動かないのです...

\* \* \*

ライブペイントは、私の手の早さを生かした企画です。この作品鑑賞メモを作っている前日の夜、テーマは未定。イメージがおりてくるのか、どんな作品ができるのか、私自身も楽しみです。制作についての質問がありましたら「なんでもかいていいのーと」に書いてください。答えはツイッターでつぶやきます。最後までお読みいただきありがとうございます。原画展にお越しいただきありがとうございます。

チアキ